

情熱の指揮者  
佐渡裕が  
満を持して臨む



佐渡裕ならではの遊び心と持ち前の旺盛なサービス精神で、毎回驚きと感動の舞台を提供してきた「佐渡裕プロデュースオペラ」。「蝶々夫人」(8公演、再演7公演)「魔笛」(8公演)「メリー・ウイドウ」(12公演)と、05年のオープン以来、芸術監督を務める兵庫県立芸術文化センターで、常識破りの驚異的な観客動員を誇ってきた話題のオペラが、09年更にスケールアップ!

東京二期会、愛知県文化振興事業団との共同制作により、全国公演が実現します。遂に始動する夢のビッグ・プロジェクト!  
これはもう、絶対見逃さない!

さど ゆたか ● 京都市立芸術大学を卒業後、故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。89年新進指揮者の登竜門として権威あるプザンソン指揮者コンクールで優勝。現在、パリ管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、イタリア国立放送交響楽団等、世界各地の一流オーケストラへの客演を重ねている。02年より兵庫県立芸術文化センター芸術監督に就任。03年4月より「題名のない音楽会」(テレビ朝日系列)の司会を務める。



妥協のない緻密に練り上げられたドラマと美しい舞台空間を得意とする、ヨーロッパ・オペラ界屈指の知性派演出家

ジャン＝ルイ・マルティノティ



ハンス・シャヴェルノホによる舞台装置模型

Set models by Hans Schavernogh © Fabrice Kebour

2009 6/25 (木) 6:30PM 26 (金) 2:00PM 27 (土) 2:00PM 28 (日) 2:00PM 30 (火) 2:00PM 7/1 (水) 2:00PM 3 (金) 6:30PM 4 (土) 2:00PM 5 (日) 2:00PM  
【全9公演】

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール A12,000 B9,000 C7,000 D5,000 E3,000  
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口すぐ JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

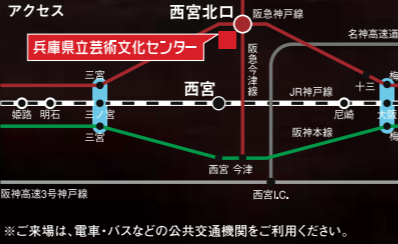
ご予約・お問合せ 芸術文化センター チケットオフィス 0798-68-0255 (10:00AM~5:00PM月曜休み※祝日の場合翌日)

インターネット予約 24時間予約可能! 兵庫県立芸術文化センター 検索 http://www.gcenter-hyogo.jp

会員 B・C・D・E席 1.14(水) 一般 1.18(日) 電話予約開始 A席 1.15(木) ※窓口での引取り・販売(残席ある場合)は1.20(火)より

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード309-719] プレイガイドでの  
ローソンチケット 0570-000-407 [オペレーター対応] お取扱いについては  
プレイガイド 0570-084-005 [Lコード59644] 各プレイガイドに  
イープラス http://eplus.jp (パソコン&携帯電話) お問合せください。

託児サービスのご案内(有料・定員あり・要予約)  
対象:3歳以上小学校入学前まで  
申し込み:公演日の1週間前までに、芸術文化センター  
チケットオフィスへお申込みください。



東京公演

09 7/17 (金) 6:30PM 18 (土) 2:00PM 19 (日) 2:00PM 20 (月・祝) 2:00PM  
東京文化会館 大ホール 1/24(土)発売開始

ご予約お問合せ チケットスペース 03-3234-9999  
二期会チケットセンター 03-3796-1831 www.nikikai.net  
FAX03-3796-4710 E-mail: nikikai@mx3.alpha-web.ne.jp 電話受付:平日10:00AM~6:00PM 土曜10:00AM~3:00PM 日・祝休業

愛知公演

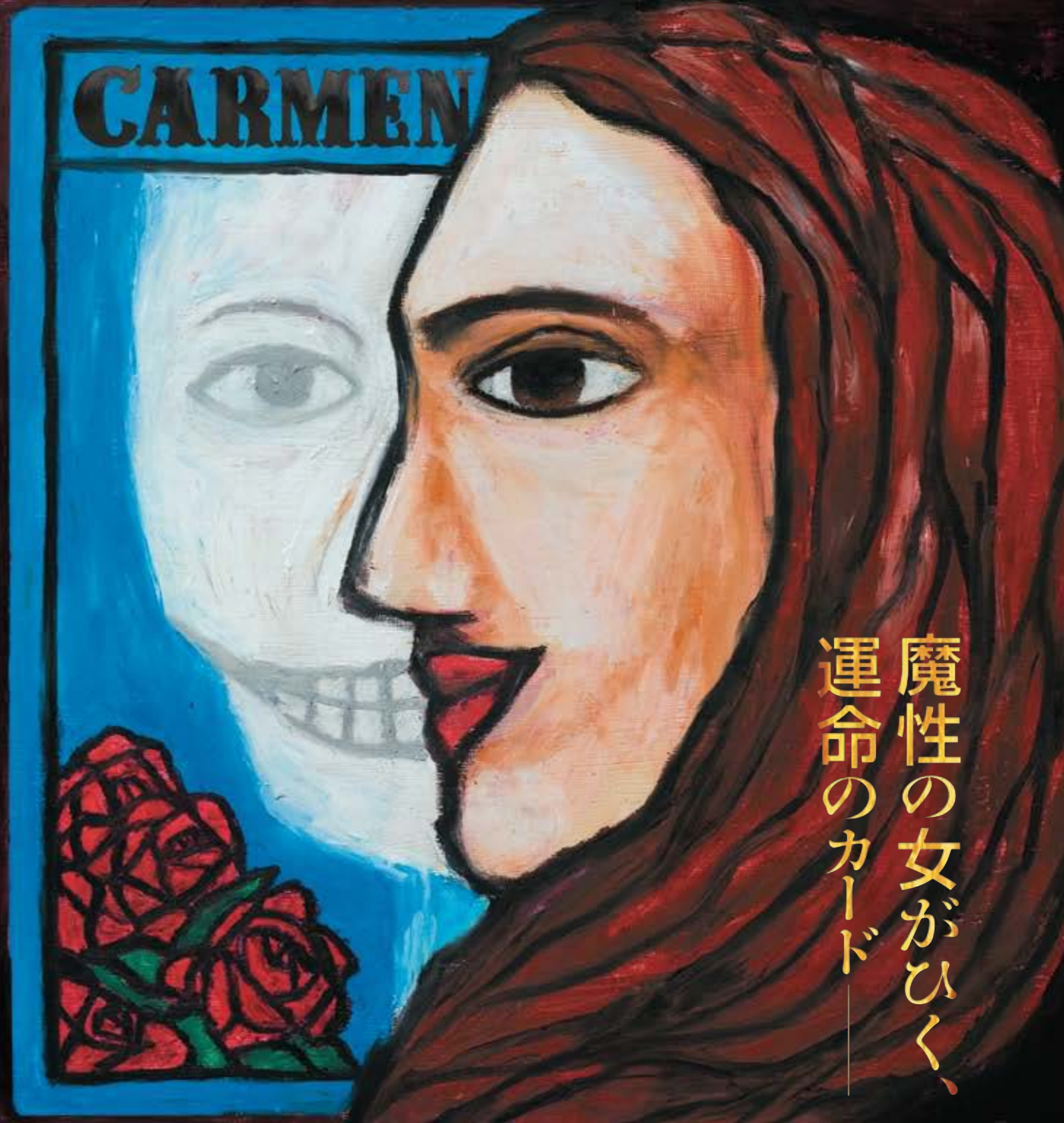
09 7/25 (土) 2:00PM 26 (日) 2:00PM  
愛知県芸術劇場 大ホール 1/23(金)発売開始

チケット取扱い | チケットぴあ、芸文プレイガイド 052-972-0430  
お問合せ 9:00AM~5:30PM 土日祝休み  
愛知県文化振興事業団 052-971-5609

【ご注意】※表示料金はすべて消費税込み、全席指定席。※未就学児童のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合があります。最終の出演者は当日発表とさせていただきます。※開演時間に遅れますと、長時間入場をお待ちいただくことになります。時間に余裕を持ってお越しください。※場内での写真撮影、録音、録画、携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。※本公演の字幕は舞台の両脇に設置されます。一部見にくい席がある場合がありますが、あらかじめご了承ください。



# カルメン



魔性の女がひく、  
運命のカード

2009 6.25 (木) ~ 7.5 (日) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール  
【全9公演】

主催:日本オペラ連盟/兵庫県/兵庫県立芸術文化センター/財団法人東京二期会/財団法人愛知県文化振興事業団  
協賛: サクラ精機株式会社 サクラファインテックジャパン株式会社 後援:在日フランス大使館

佐渡裕 プロデュースオペラ2009

# カルメン

## 日本オペラ史上、空前のスケールで臨む超大作。 熱きマエストロ・佐渡裕のタクトが導く運命の瞬間。 この衝撃、見逃さない!

作曲=G.ビゼー 台本=H.メイヤック/L.アレヴィ [指揮] 佐渡裕 [演出] ジャン=ルイ・マルティノーティ

### これぞオペラの醍醐味! 圧倒的な存在感を放つ傑作「カルメン」

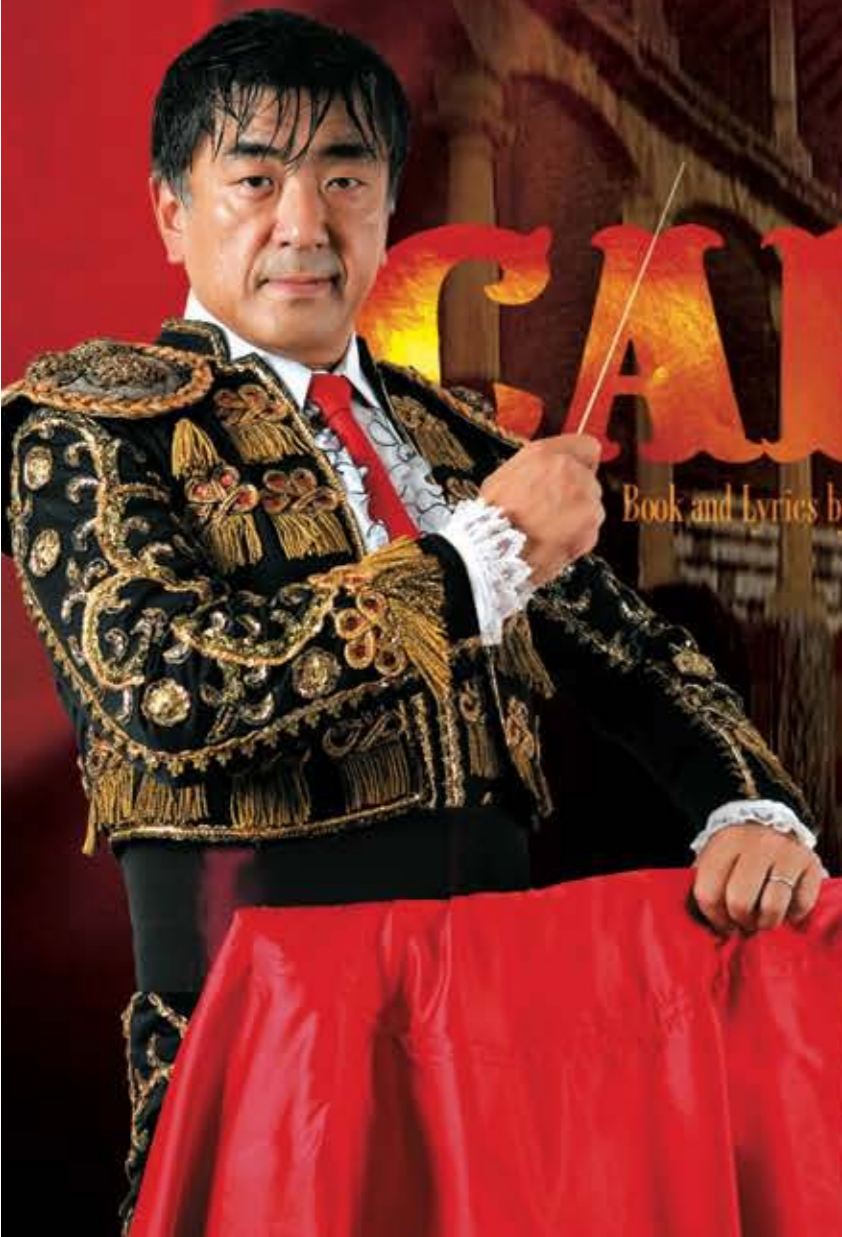
乾いた土、灼熱の太陽が照らすスペイン。歓声と興奮に沸きあがる闘牛場、生命感があふれる女たち、真紅のバラ、官能的なフラメンコのリズム…。エキゾチスム漂うストーリーと、「前奏曲」から繰り広げられる鮮烈なオーケストレーションは、カルメンの歌う「ハバネラ」、ホセの「花の歌」、エスカミーリオの「闘牛士の歌」など、数々の名旋律で彩られ、名歌の花々と融合し、ドラマティックに展開します。オペラの醍醐味を味わうには最も適しているといえるこの作品。しかも、1ヶ月で兵庫・東京・愛知を結び、全15回公演という空前のスケールで実現する共同制作。情熱の指揮者・佐渡のタクトが導く、衝撃の瞬間にぜひお立会いください。

### 闘牛場の興奮が、劇場に。 充実のキャスト&スタッフが総力を挙げて挑む

豊富な経験と高い表現力を持つ海外勢と、近年の充実めざましい国内勢が日替わりのダブルキャストで集結。従来の「重い」「暗い」カルメン像を払拭し、より人間的な迫真性をもたらすのは、ウィーン国立歌劇場等で数々の名舞台を経験してきたS・グリゴリアンと、次々に新境地を開き、いま最も輝いているメゾ・ソプラノ林美智子。対するドン・ホセは、ヨーロッパ中の著名歌劇場で持ち役としてきたL・ロンバルドに、日本人離れた輝かしい美声を誇る佐野成宏が競演。エスカミーリオのJ・F・ラポワントと成田博之、ミカエラの木下美穂子と安藤赴美子など、錚々たる顔ぶれがそろそろ。演出のJ・L・マルティノーティは、膨大な資料と考証を元に伝統的なスタイルで緻密な舞台を構成する名匠。一方、現代オペラ演出の旗手らの片腕を務めてきたH・シャヴェルノホは、大胆かつヴィヴィッドに舞台空間を創り上げる。映画を中心に華麗な衣装デザインを手がけるS・d・セゴンザック、数々の斬新な照明プロジェクトを手がけ今最も注目されるF・ケプルーと、舞台芸術の粋を結集したワールドワイドなプロダクションが実現します。

### 佐渡の「カルメン」が 日本のオペラシーンを変える!

そして今回、質の高い舞台の創造とこれまでの常識を覆す観客動員で、全国の注目を集めつつある「佐渡裕プロデュースオペラ」が、さらにスケールアップ! 先鋭的演出家の起用等によって日本オペラ界をリードしている国内最大のオペラ団体「東京二期会」、名古屋を拠点に高水準の自主制作オペラを発信してきた愛知県文化振興事業団、佐渡裕のもと、めざましい成果を挙げる兵庫県立芸術文化センターの三者による強力タイアップで、兵庫・東京・愛知を結び、全国公演に展開します。国内制作オペラとして、かつてない規模で臨む、夢のビッグ・プロジェクト。五感を揺るがす感動がここに。その真価をぜひその目で確かめてください!



# CARMEN

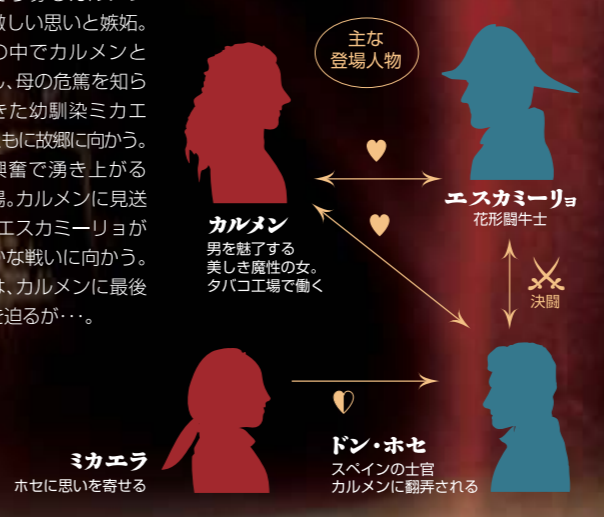
Book and Lyrics by Henri Meilhac and Ludovic Halévy, Music by Georges Bizet

Georges Bizet (1838-1875)

**ジョルジュ・ビゼー**

「カルメン」は、1875年10月のオペラ・コミック座で初演された、フランス歌劇の代表作。古今のオペラで作曲家ビゼーの生涯は、波瀾に満ちたわずか36年という短いものでした。神童として早くから音楽の才能を開花させ、そのほどのピアノの腕を持ちながら、オペラ作曲家としての成功を夢見ず、オペラ作曲家としての腕を持ちながら、当時の聴衆にはあまりにも衝撃的だったストーリーと音楽は、厳しい批判にさらされました。皮肉にも、後の「カルメン」の成功を知ることなく、初演からわずか3ヵ月後、ビゼーは突然この世を去ったのです。

**Story** 舞台は1830年頃のスペイン、セヴィリア。タバコ工場でもめごとを起こした魔性の女カルメンを衛兵隊の伍長ドン・ホセが捕らえる。しかしその魅力に翻弄されたホセはカルメンを逃してしまい、その罠で牢に入る。花形闘牛士エスカミーリオも現れる酒場は、カルメンを含む密輸団のアジトになっていた。カルメンは刑を終えたホセと再会し、二人の情熱は激しく燃え上がる。しかし、立場に囚われたホセの生き方に苛だたしい憤りを感じるカルメン。自由こそ私の生き方、それで命を落とすなら、それも運命。陰謀に加担したホセは、団に加わることを余儀なくされる。社会的立場を失う一方、いっそ暮るカルメンへの激しい思いと嫉妬。愛憎の中でカルメンと決別し、母の危篤を知らせにきた幼馴染ミカエラとともに故郷に向かう。——興奮で湧き上がる闘牛場。カルメンに見送られ、エスカミーリオが華やかな戦いに向かう。ホセは、カルメンに最後の愛を迫るが…。



ステラ・グリゴリアン 6/25,27,30, 7/3,5  
林 美智子 6/26,28, 7/1,4

6/25,27,30, 7/3,5 6/26,28, 7/1,4 6/25,27,30, 7/3,5 6/26,28, 7/1,4



ルカ・ロンバルド 佐野成宏  
ジャン・フランソワ・ラポワント 成田博之



ミカエラ フラスキータ  
木下美穂子 安藤赴美子  
菊地美奈 吉村美樹



メルセデス モラレス  
ソフィー・ボンジクリス 田村由貴絵  
与那城 敬 榎 貴志



スニガ レメンダード  
斉木健詞 松本 進  
小原啓楼 大川信之



ダンカイロ  
加賀清孝 初鹿野 剛

[合唱] 二期会合唱団・ひょうごプロデュースオペラ合唱団 (合唱指揮: 矢澤定明)  
[児童合唱] ひょうごプロデュースオペラ児童合唱団  
[管弦楽] 兵庫芸術文化センター管弦楽団

(芸術監督・指揮) 佐渡 裕 (兵庫県立芸術文化センター芸術監督)  
(演出) ジャン=ルイ・マルティノーティ  
(装置) ハンス・シャヴェルノホ (衣裳) シルヴィド・セゴンザック  
(照明) ファブリス・ケプルー (言語指導) ドウニーズ・マッセ  
(舞台監督) 幸泉浩司 (アートクリエイション)  
(プロダクション・マネージャー) 関谷潔司 (兵庫県立芸術文化センター)  
(プロデューサー) 小栗哲家 (兵庫県立芸術文化センター企画制作アドバイザー)